



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社遠藤製作所
 コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 実
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門担当 (氏名) 青木 宏行
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0256-63-6111

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	2,650	—	162	—	194	—	112	—
29年3月期第1四半期	3,007	△16.2	370	48.2	375	38.2	282	307.8

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 285百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △211百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	12.91	—
29年3月期第1四半期	32.31	—

(注) 当社は、平成29年6月28日開催の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認され、平成29年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。この結果、当第1四半期連結累計期間は、すべての連結対象会社について平成29年4月1日から平成29年6月30日までを連結対象期間としており、前第1四半期連結累計期間と連結対象期間が異なるため、対前年同期比増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	17,627	14,243	80.8
29年3月期	17,718	13,962	78.8

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 14,243百万円 29年3月期 13,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,382	—	209	—	244	—	131	—	15.01
通期	8,086	—	268	—	312	—	166	—	19.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年6月28日開催の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認され、平成29年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。従いまして、平成29年12月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については、9ヶ月間(平成29年4月1日～平成29年12月31日)の予想数値を記載しております。このため、対前期増減率については記載していません。

[参考]

下記の%表示(調整後増減率)は、前期の第3四半期(累計)(平成28年4月1日から平成28年12月31日)の業績と当期業績予想とを比較した増減率です。

売上高 8,086 △8.5% 営業利益 268 △78.3% 経常利益 312 △76.6% 親会社株主に帰属する当期純利益 166 △84.3% (単位:百万円)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期1Q	9,441,800 株	29年3月期	9,441,800 株
29年12月期1Q	711,871 株	29年3月期	711,871 株
29年12月期1Q	8,729,929 株	29年3月期1Q	8,729,929 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成29年6月28日開催の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認され、平成29年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書は、3月決算会社については、平成28年4月1日から平成28年6月30日までの損益を、12月決算会社については、平成28年1月1日から平成28年3月31日までの損益を基礎として連結していましたが、当第1四半期連結累計期間の連結損益計算書は、すべての連結対象会社について平成29年4月1日から平成29年6月30日までの損益を連結しています。

このため、当第1四半期連結累計期間は前第1四半期連結累計期間と対象期間が異なるため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善から、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、海外経済の不確実性等に対する下振れ懸念から、景気を下押しする不安要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、ゴルフ事業で生産体制の最適化・効率化、経営資源の有効活用を図るため、海外子会社の工場移転集約を進める一方、全社で受注獲得の取り組みを強化するとともに、生産効率の向上、一層のコストの低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は26億50百万円となりました。利益面につきましては、営業利益1億62百万円、経常利益1億94百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1億12百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、取引先の主力モデルの受注獲得に努めるとともに、リードタイムの短縮、製造コストの低減に取り組む等により、売上高9億69百万円、営業利益44百万円となりました。

(ステンレス事業)

ステンレス事業につきましては、受注拡大の強化、高付加価値製品の供給等に取り組みましたが、一部生産の先送りや出荷製品の構成割合等により、売上高2億73百万円、営業利益61百万円となりました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、タイ国自動車産業の本格的な回復が遅れる中、積極的な受注の獲得や生産効率の向上、コスト低減の取り組み強化等により、売上高14億7百万円、営業利益1億90百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、176億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円減少いたしました。

流動資産は、109億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億51百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金が減少したこと等によるものであります。固定資産は、66億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加いたしました。この主な要因は、建設仮勘定が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、33億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億71百万円減少いたしました。

流動負債は、18億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少いたしました。この主な要因は、1年内償還予定の社債が減少したこと等によるものであります。固定負債は、14億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、142億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億81百万円増加いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更ありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,315,699	6,950,603
受取手形及び売掛金	2,134,298	2,135,291
商品及び製品	599,729	694,784
仕掛品	490,401	445,720
原材料及び貯蔵品	573,610	601,875
繰延税金資産	37,816	37,068
その他	85,591	120,509
貸倒引当金	△9,094	△9,566
流動資産合計	11,228,053	10,976,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,265,305	2,185,464
機械装置及び運搬具(純額)	1,738,684	1,549,662
工具、器具及び備品(純額)	97,350	111,154
土地	1,510,221	1,522,846
建設仮勘定	17,615	400,312
有形固定資産合計	5,629,177	5,769,440
無形固定資産	23,770	21,342
投資その他の資産		
投資有価証券	107,192	123,287
投資不動産(純額)	249,567	248,805
退職給付に係る資産	444,565	453,735
長期未収入金	240,919	244,362
繰延税金資産	7,592	5,724
その他	28,805	29,534
貸倒引当金	△241,219	△244,662
投資その他の資産合計	837,423	860,788
固定資産合計	6,490,370	6,651,571
資産合計	17,718,423	17,627,857

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	807,253	811,592
短期借入金	216,640	188,830
1年内償還予定の社債	500,000	—
未払法人税等	137,992	121,567
未払金及び未払費用	319,728	378,925
賞与引当金	59,797	172,026
役員賞与引当金	25,000	—
その他	145,126	218,562
流動負債合計	2,211,539	1,891,504
固定負債		
長期借入金	1,004,160	950,000
繰延税金負債	190,870	192,239
退職給付に係る負債	193,002	208,917
役員退職慰労引当金	65,490	51,427
資産除去債務	46,216	46,454
その他	44,661	43,613
固定負債合計	1,544,402	1,492,651
負債合計	3,755,941	3,384,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,189,873	1,189,873
利益剰余金	11,132,400	11,240,446
自己株式	△281,968	△281,968
株主資本合計	13,282,093	13,390,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,178	21,365
為替換算調整勘定	670,209	832,196
その他の包括利益累計額合計	680,388	853,562
純資産合計	13,962,482	14,243,701
負債純資産合計	17,718,423	17,627,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,007,088	2,650,505
売上原価	2,308,244	2,091,262
売上総利益	698,843	559,243
販売費及び一般管理費	328,623	396,655
営業利益	370,219	162,587
営業外収益		
受取利息	8,630	11,357
受取配当金	1,138	1,168
投資不動産賃貸料	5,816	6,564
為替差益	—	12,333
助成金収入	27,156	—
その他	14,478	9,328
営業外収益合計	57,220	40,752
営業外費用		
支払利息	5,255	1,939
減価償却費	4,241	1,788
シンジケートローン手数料	2,557	2,758
固定資産除却損	12,502	—
為替差損	25,248	—
その他	1,994	2,639
営業外費用合計	51,800	9,126
経常利益	375,639	194,214
税金等調整前四半期純利益	375,639	194,214
法人税、住民税及び事業税	75,677	70,670
法人税等調整額	17,876	10,839
法人税等合計	93,553	81,510
四半期純利益	282,085	112,704
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,085	112,704

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	282,085	112,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,064	11,187
為替換算調整勘定	△480,353	161,986
その他の包括利益合計	△493,417	173,173
四半期包括利益	△211,332	285,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211,332	285,877
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,196,120	289,842	1,521,125	3,007,088	—	3,007,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	1,198,670	289,842	1,521,125	3,009,638	△2,550	3,007,088
セグメント利益	137,845	120,798	207,928	466,572	△96,352	370,219

(注) 1. セグメント利益の調整額△96,352千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93,802千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	969,545	273,058	1,407,902	2,650,505	—	2,650,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	972,095	273,058	1,407,902	2,653,055	△2,550	2,650,505
セグメント利益	44,513	61,434	190,570	296,517	△133,929	162,587

(注) 1. セグメント利益の調整額△133,929千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△131,379千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。